

NanoSuit 法に関する学術情報

国際誌 "Insects" に神戸大学名誉教授；尾崎まみこ先生、当社；高久らの論文が掲載されました。
“Antenna Cleaning Is Essential for Precise Behavioral Response to Alarm Pheromone and Nestmate–
Non-Nestmate Discrimination in Japanese Carpenter Ants (*Camponotus japonicus*)”

<https://www.mdpi.com/2075-4450/12/9/773#>

クロオオアリは、体臭の素になる数種類の炭化水素の違い（割合）を識別して同じ巣の仲間か、別の巣の個体かを認識します（Ozaki et al, 2005）。

この炭化水素を受容する場所は、触角（antenna）にある感覚毛ですが（図 a-c）、常に掃除をしていないと Wax が付着し過ぎて感覚受容が出来なくなります（図 d）。

このような触角表面の変化は従来の SEM 観察法では化学固定プロセスでの有機溶媒による処理中に Wax がすべて流れてしまって観察不能でしたが、NanoSuit 法ではじめて観察が可能になりました（Mizutani et al, 2021）。』

